



七色のかがやき

長崎市立虹が丘小学校 学校便りNo.6

令和7年 6月9日(月)

編集・発行責任者 校長 池田敏典

E-mail e52@nagasaki-city.ed.jp

G-mail nijigaoka@gmail.com

精一杯、命を輝かせる

6月。曇りや雨の風景に、紫陽花や花菖蒲が心を潤してくれます。また、小さな蛍が放つ光が、暗い夜にひととき美しく輝き、命の尊さを感じさせてくれます。



かつて長崎県内では、6月下旬から7月にかけて、今思い起こしても胸を衝かれるような、児童生徒の命を同じ児童生徒が奪うという事件が起きました。

今でも追悼は続いており、各学校でも、「長崎っ子の心を見つめる教育週間」を毎年行っています。どうしてもこの時期は、特に、平和学習とも相まって命について考えさせられます。

「命を守る」のは「親をはじめ、大人の、子どもを愛おしむ心」なのだと思われ改められてきます。勿論、子ども自身には、自ら命を守る態度、他への思いやり、安全な生活行動等についての指導も大切ではありますが、それでもやはり、私たち大人の役割は極めて重要であり、それは子どもへの底知れぬ深い愛情があつてのことだと思ふのです。

はいはいを始めたばかりの赤ちゃんを見て、思わず頑張れと心から笑顔で励ましたり、よちよちと歩み始めた幼児に思わず両手でかばいたくなったりするのはなぜでしょう。それは、無意識ながらも精一杯命を輝かせようとする姿を大切にしたいという生来備わっている怒の心があるからだと思ふのです。子どもたちの、きちんと立ち止まり挨拶をする姿。「はいっ。」と元気よく返事をする姿。運動場を力いっぱい駆け回る姿。問題に頭を抱えながら話もせず考え込む姿。友達と笑顔で笑いながら談笑する姿。小学生のこれらの姿にも、私たちは、頑張れと思わず励ましたくなります。これらもまた命を輝かせている姿だからです。

私たちは、今一度、子どもたちの命が輝く姿をしっかりと見つめ、そのとき湧き上がる、この命を守り輝かせたいとの思いをもって守り育てたいものです。

長崎(虹)っ子の心を見つめる教育週間

6月23日(月)～28日(土)

心を見つめる教育週間は、子どもたちの心を見つめ、耕す週間でもあります。

人とたくさん関わり、良い言葉をたくさん投げかけて欲しいと願っています。

案外、人はその言葉を大切に胸に秘め、自信とするものです。ときには、一生忘れられない言葉になることがあります。

授業で、遊びで、清掃で、すれ違うときでさえ、温かな良い言葉は発することができます。

言葉は、人の人生をも決定するような、とても大きな力をもっています。できるだけ、励ます、褒める、認める、感謝のある言葉を投げかけて欲しいものです。少なくともこの一週間は、温かな良い言葉、温かな心と対話を中心に心がけさせ、お互いにみんなの心を元気にする、そうした一週間にしていきたいと思ふ。



週間中の主な取組

6月23日(月)

13:40～全校集会(校長講話)

14:00～幼保小連携1年公開授業・幼保の先生と1年担任との懇談会

6月24日(火)

10:05～被爆体験講話

12:30～地域の方との給食ミーティング

6月26日(木)

13:40～集団下校

6月28日(土)

8:30～土曜授業

3校時/10:15～道徳科授業公開

11:10～学級懇談会

保護者の皆様、地域の皆様、教育週間期間に限らずとも、どうぞお気軽に御来校いただきまして、子どもたちに温かい言葉をかけていただきますようお願いいたします。